

第四項 家族の義務

家族の義務は、戸主權に服従し、其身上の進退に關し戸主の同意を得るのが主でありまして、之れは別に述べる必要がありません。

第三節 戸主權の消滅

第一款 死亡に因る消滅

死亡が戸主權消滅の自然的原因となる事は、誰が見ても見易いことであります。法律は、實際死亡せなくても、死亡したと云ふ推定が附けばそれで戸主權消滅の原因とすることがあります。之れはどんな場合かと云へば、ある期間生死が知れないときに、失踪の宣告をした時であります。しかし、之れは實際死亡したものではありませんから、若し途中で死な、い事がわかれば、取消の効力は既に溯つて、元の身分に復するのであります。

小兒の健康と菜食

三島博士の説に由れば、野菜類を好む子供は胃の弱き虚弱の子供に多し、元來野菜は魚肉、牛肉に比すれば滋養少き上に消化も宜しからず、故に胃の丈夫の子供が自然に野菜を好み相に思はるれども、事實は全く反對にして前述の如きは、例へば大人に在りても胃病持ちは、滋養のある肉食類よりは反つて茶漬に漬物の淡泊にして、併も消化よからず滋養少きものを好むが如し、而して、これを好むに由りて益々胃を悪くするものなり。故に子供にても野菜のみを好んで、肉類を嫌ふ傾のものは、これがために遂に營養不足の爲め 虚弱に陥るべし。されば、注意して魚肉牛肉の如きものを淡泊に料理して食べさせる様にすべきなりと、